



“私が思っていること”

榊原 七太さん(88歳)

感謝！りんりんの南東、徒歩で約7～8分のところに住む、独居老人の榊原七太です。

前理事長の下村さんのお誘いを受けて、木曜日の昼食「生き生きサロン」でご厄介になってもう10年近くになっています。私の経験から考えるに、独り住まいではテレビの前で1日を過ごすことが多く、友人知人と話すこともない日々になってしまう生活が多くなるのは自然のなりゆきになります。こういった生活の中で、多くの人と一緒に食事をとったり、他の人と話したり、ゲームを楽しんだり、脳トレ等の活動、血圧測定等は、個人では出来ないことであり、大変ありがたいことです。食事をさせて頂くことは勿論ですが、りんりんの方のサービスによる、さまざまな活動を経験させて頂くことに対し感謝の念で一杯です。

かつて、NHKの番組“あさイチ”取材および放送に参加させて頂いたことは、私にとって人生の大きな幸せを感じる一つの出来事でした。アナウンサーの方に「どんな放送の取材なんだ？」と質問するが、それには一切答えてくれなくて狐につままれたような気持ちで取材をうけていました。家の中を隅々まで見られたり、冷蔵庫の乱雑に詰められた様子も写されたりし、冷や汗を流すこともしばしばでした。“あさイチ”の放送を見て、独居老人の「終の住みかをどう選ぶ」というねらいが解ったという次第。私は、自分の家で暮らしたい老人の部類で、もう一方は施設へ入所して生活する人の様子が写されたものでした。

もう一つの体験で心に残っていることは、そば打ち体験でした。自分達が打ったお蕎麦のおいしかったことは、忘れることはできません。まだまだ、体験させて頂いたことはありますが、きょうはこれくらいで筆をおきます。

りんりんの方々には種々体験させて頂き、心が豊かになっていくことをこれからも期待しております。有難う御座居ました。感謝!!

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が  
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

松本 勉 杉 文雄 榊原 照子 榊原 初美  
(株)イシハラフード 明治製菓(株) 村上 眞喜子 (敬称略)

りんりんのできごと

りんりんデイサービスセンター

2/27(水) 阿久比町勤労福祉センターへ“吊るし飾り展”見学

3/5(火) 岩滑小“のぞみ学級”の子ども達との交流会

りんごクラブ

1月 みんなでランチ・書初め

2月 駄菓子屋・お抹茶・バレンタイン

3月 ボウリング大会(コロナ)・百人一首大会・権現山遠足

りんごびあであそび

1月 ベビーマッサージ 3月 ミニ運動会

やなべっこ食堂

1月 豚汁、おにぎり ..... 21名

2月 ロコモコ丼 ..... 32名

3月 ケーキ寿司 ..... 34名

ごえん

1月 きなこもちづくり 2月 大学芋 3月 おにぎりづくり

～ ヘルパー研修会 ～

1月 第1回大運動会 体を動かそう! ..... 53名

2月 「障がい者支援」訪問看護ステーション“和来” ..... 36名

3月 今年度の振り返り・31年度に向けて ..... 42名

多世代交流事業

	1月	2月	3月
生き生きサロン	96名	104名	73名
さをり織り	47名	38名	50名
絵手紙	21名	22名	10名

(H31/3月末現在)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
22名	119名	119名	260名

(H31/3月末現在)



「新しい年度に思うこと」

4月1日に新元号「令和」が発表されました。人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味を持つそうです。

今春も、放課後児童健全育成事業りんごクラブに新しい子どもたち13名を迎えました。昨年の猛暑で夏休みの間に外遊びの制限をして窮屈な思いをさせたこともあり今年度は、定員70名として、より良い環境の中で安全にお預かりするために今後も努力してまいります。

毎年、大きなカバンを背負って緊張した顔で歩く姿を見ると、自分が子育てをしていた頃の事を思い出します。親は子供からいろいろと教わることもあり、子供と一緒に成長していきます。そして、自分の親の老いていく姿を見て自分がどのように生きていくかを考えさせられます。

今年に入り、りんりん平成18年から理事を務めていただいた榊原幸宏さんが亡くなられました。りんごクラブの子供たちも保育園の頃から幸宏さんの顔を知っていて、軽トラに乗ってすれ違うと手を振ったりしていました。「ほ～い 幸宏 でーす」と私たちにも声をかけてくださり、あの笑顔を見るとホッとしました。生前「このりんりんを含めて、“岩滑を人にやさしい町、たくさんの人に来てもらえる町にしたい。”私自身としてはりんりと地元がうまくマッチするための橋渡し役をしたいと考えている」と言葉を残されました。このたびの突然のお別れに戸惑っていますが、幸宏さんに繋げてもらったご縁を大切に、そして、この地域のために今後とも努力していきたいと思っています。

理事長 渡邊 千恵



幸宏さんたちが植えた菜の花

## 蔵のまち 桃の節句

3月3日(日) あいにくの雨の中、クラシティ半田の1階テラスで「まちひろ in 蔵のまち 桃の節句」が開催されました。

りんりんからは“さをり織り”と手づくり小物グループの“やなべ小町”が参加しました。“さをり織り”の布を使った大小さまざまな大きさのポーチ、ヘアゴムやブローチ、キーホルダーなどなど



“やなべ小町”はレッスンバッグや布マスク、お手玉、カード入れなど小物雑貨を中心に販売しました。

とても寒く真冬のような日でしたが、行きかう方々には、作品を手にとっていただき、いくつもお購入いただきました。

## 令和元年度総会のお知らせ

場所 りんりん1階  
日時 5月26日(日)10時~12時

賛助・協力会員の皆様、ご出席いただきますよう  
よろしくお願いたします。

## 哀悼 りんりん理事 榊原 幸宏様

13年の長きにわたり、理事としてりんりんを支えて下さった榊原幸宏様が、1月14日急逝されました。

全く突然のことで、信じられないご逝去でした。平成18年度から理事としてりんりんをご指導くださいました。今年度のりんりん体制の中で、榊原様には、引き続きご活躍いただくことに決まっております。りんりんとしては今もなお深い悲しみにつつまれております。

長年のご支援に一同心から感謝し、つつしんでお悔やみ申し上げます。

## りんごクラブの思い出・卒業

★私はりんごに5年間通ってました。春・夏休みはいつもと違いおもちゃなどを持ってきて遊べました。特にりんごで楽しかった場所は、舞台下です。秘密基地のような感覚で楽しかったです。 青木 小羽

★私のりんごの思い出は、ドッチボールです。私はそんなによけるのが得意ではなかったのですが、1年間を通して、よけることに自信を持てた。また同じチームとの協力をより深めることが大切だと学びました。 東野 佑奈

★私は1年生の初めからりんごに入りました。6年間でたくさん思い出や年下の友達を作ることが出来ました。りんごの大人は面白くて、楽しい時間を過ごせました。だから、もったりんごに居たかったです。 竹内ななほ

★私は土曜日に来ていました。普段と比べて土曜日はいろいろな事ができました。特に楽しかったのは、サバイバルゲームです。土曜日は楽しい思い出がたくさんです。 小鈴ひより

★私がりんごに入って良かったことは、今の6年生の子と、前よりも仲良くなれたことです。同じクラスになっていない子とも仲良くなれたのでうれしかったです。 暮谷 心花

## ~りんごクラブだより~

4月から、新1年生12名、新3年生1名を迎え総勢70名となりました。1年間お楽しみもいろいろ！みんなで楽しく過ごしましょうね！



春休みのボウリング楽しかったよ



権現山へ遠足

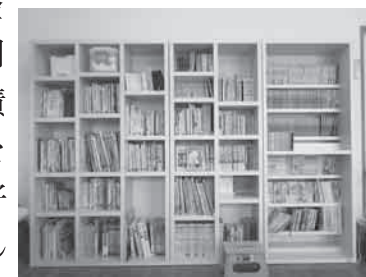
## 令和元年度(平成31年度)年会費納付のお願い

日頃よりりんりんの活動をご支援いただきありがとうございます。年会費の納入時期になりましたので、今年度もご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

年会費 3,000円

## ろうきん東海NPO寄付システム ご寄付ありがとうございます

りんりんは平成14年から東海労働金庫の「支援NPO団体」になり、毎月ご寄付をいただいています。これを積み立てこのたび、りんごびあの本棚を買わせていただきました。子ども達も好きな本を見つけやすくなってとても喜んでます。



## ~デイサービスりんりん~

## 岩滑小学校のぞみ学級と交流会

3月1日(金) “のぞみ学級”の子どもたちが、りんりんデイサービスセンターに今年度3回目の交流会に来ました。今回は、ひなまつりお楽しみ会で、子どもたちの合奏・ハンドベル・おどり・合唱・サイコロトークなどを見せてもらい、とても楽しく、あっという間に時間が過ぎました。



## イオン “幸せの黄色いレシートキャンペーン”

平成30年度の“幸せの黄色いレシート”の合計が769,210円になりました。うち1%に相当する7,700円のイオンギフトカードがいただけることになりました。このギフトカードはりんごびあ備品などに交換させていただきます。

りんりん会員の皆様、イオンのお客様、“黄色いレシート”をたくさんご投函いただき本当にありがとうございました。